

経営比較分析表（令和5年度決算）

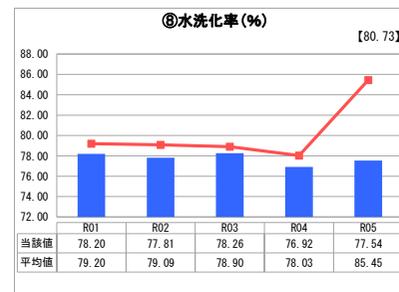
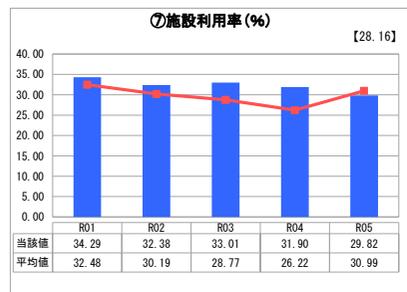
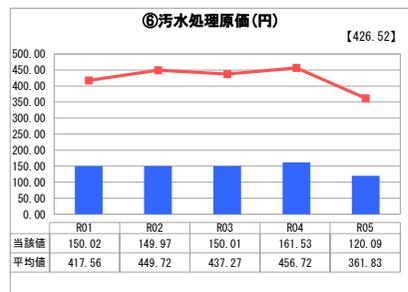
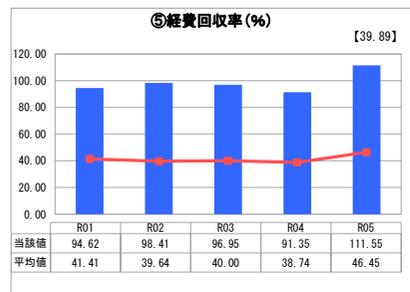
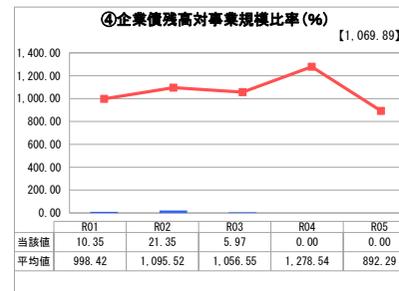
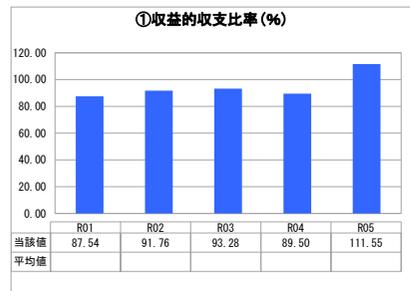
宮崎県 川南町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H1	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	5.41	87.28	2,750

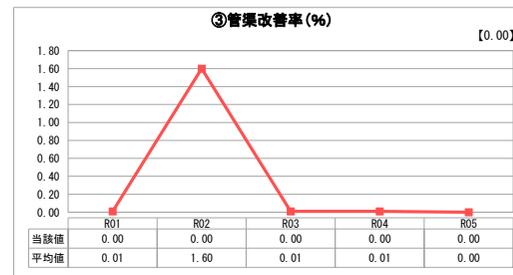
人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
14,930	90.13	165.65
処理区域内人口 (人)	処理区域面積 (km ²)	処理区域内人口密度 (人/km ²)
797	0.18	4,427.78

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

○経営の健全性
収益的収支比率は、100%を大きく上回っている数値となっているが、これは、令和6年3月で打切決算を行ったためであり、未払金の状況を考えると、前年度同様の数値と思われます。
施設利用率及び水洗化率は、区域内人口の減少等により、ほぼ右肩下りの状況が続いております。企業債については、今年度も起債していません。

○汚水処理原価
汚水処理原価は、前年度より41.44円減となっておりますが、打切決算の影響を大きく受けており、実質は、前年度を上回っていると思われま

令和6年度より法適用の企業会計を行います。今まで以上に経営についての分析が必要になると考えており、今後の経営を見直していく機会だと捉えております。

2. 老朽化の状況について

管渠については、今のところ問題ないように見られます。機械等については、保守点検の結果を考慮し、長寿命化を踏まえて更新していくと考えております。

全体総括

打切り決算に伴い、数値については単純に比較できないものと考えております。
令和6年度から法適用事業会計となり資産の捉え方も変わります。今までの経理とは異なり、よりシビアな数値が現れると考えており、健全な経営を行うために必要な事柄が、より分かりやすくなると考えられます。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。